

# なるほど! プロスニーカー® プロブーツ®



PROSNEAKER & PROBOOTS



プロスニーカーなら  
先芯があり、公的試験をクリア  
しているから安心じゃ。

◆ 型式認定制度に関することは…

JSAA 公益社団法人日本保安用品協会

◆ 商品や技術に関することは…

JPSA 日本プロテクティブスニーカー協会



# プロスニーカー®って何?



## プロスニーカー®とは

公益社団法人日本保安用品協会制定のプロテクティブスニーカー規格(以下JSAA規格)に定める公的試験をクリアし、一定の安全性能や耐久性を備える作業靴を総称して“プロスニーカー®”、“プロブーツ®”(以下プロスニーカー)と呼んでいます。

これらは、より呼びやすく親しみやすい呼称として誕生したプロテクティブスニーカー、プロテクティブブーツの略称であり、“安全のプロが作った作業用スニーカー・ブーツ”として命名した愛称です。

日本プロテクティブスニーカー協会発足以来、加盟会社は増加し規格認定品も確実に普及して参りました。



### 【関係法令】労働安全衛生規則(安全靴等の使用)

第558条

1. 事業者は、作業中の労働者に、通路等の構造又は当該作業の状態に応じて、安全靴その他の適当な履物を定め、当該履物を使用させなければならない。
  2. 前項の労働者は、同項の規定により定められた履物の使用を命じられたときは、当該履物を使用しなければならない。
- ◆ 作業内容に合わせて、JIS認証品の安全靴やJSAA規格認定品のプロスニーカー又はプロブーツの着用をおすすめします。



法律でもプロスニーカーの着用が義務付けられているんですね!

その通り!

全ての作業内容ではないが、必要と考えられている事業所では、着用が必須じゃ。守らないと事故の可能性が上がったり、場合によっては事業主が罰せられてしまうのじゃ。





# JSAA規格とはどんな規格？



JSAA規格は、安全靴のJISを基に作られた規格です。つま先の保護性能については、安全靴のS種・L種と同じ性能を持っていますが、甲被材料や底材については、安全靴より使用できる素材が多く、デザインの自由度や軽量化が行いやすくなっています。



日本産業標準化法に基づき、JISに則った性能を満足している商品にのみ付けることができるマークです。






プロテクトティブ スニーカー

(公社)日本保安用品協会がJSAA規格に則った性能を満足していることを認めた商品に付けることができるマークです。

## 安全靴とプロテktivスニーカーの違い

JIS認証品である「安全靴」、JSAA規格認定品である「プロスニーカー®」の両方とも主として足のつま先を守る作業用の履物です。それぞれを試験、認定する機関と、製品の素材・区分や規格内容が異なります。

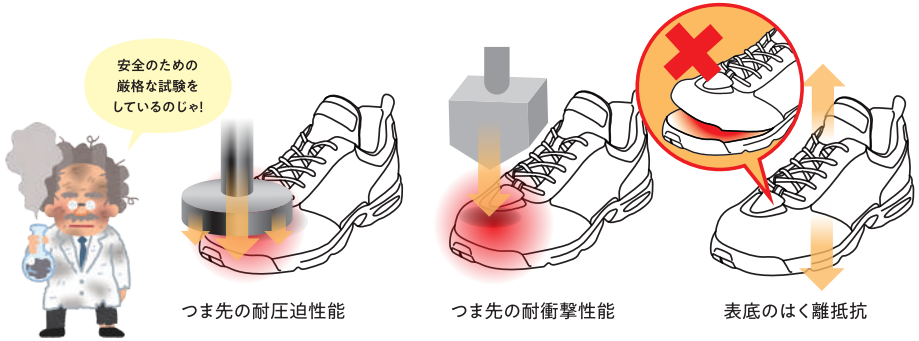
項目	安全靴	プロテktivスニーカー	プロテktivブーツ	特徴
基準規格	JIS 	JSAA 	JSAA 	JISは国家標準の日本産業規格、JSAAは公益社団法人日本保安用品協会の制定規格です。
作業区分	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 超重作業用 (U種)</li> <li>● 重作業用 (H種)</li> <li>● 普通作業用 (S種)</li> <li>● 軽作業用 (L種)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 普通作業用 (A種)</li> <li>● 軽作業用 (B種)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 普通作業用 (A種)</li> <li>● 軽作業用 (B種)</li> </ul>	つま先の防護性能等の安全性能や耐久性の違いにより、「安全靴」は4つの作業区分に、プロテktivスニーカーは2つの作業区分に分かれています。
甲被の種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 革製</li> <li>● 総ゴム製 又は総高分子製</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 革製</li> <li>● ゴム製</li> <li>● 人工皮革製</li> <li>● 合成皮革製</li> <li>● 編物製</li> <li>● プラスチック製</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ゴム製</li> <li>● 革製</li> <li>● 人工皮革製</li> <li>● 合成皮革製</li> <li>● 編物製</li> <li>● プラスチック製</li> </ul>	安全靴として規定されている革、総ゴムは耐久性に優れています。一方、プロテktivスニーカーに主として使用されている人工皮革や合成皮革、編物等は、革に比べ耐久性は劣りますが、甲被材としての自由度があり、多様なデザインを実現します。
製法	<ul style="list-style-type: none"> <li>● インジェクション式</li> <li>● バルカナイズド式</li> <li>● セメントッド式</li> </ul>	主流は <ul style="list-style-type: none"> <li>● セメントッド式</li> <li>● インジェクション式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 加硫圧着式</li> <li>● セメントッド式</li> <li>● インジェクション式</li> </ul>	セメントッド製法は、多様な靴底を使用する場合の底付方式として広く利用されています。バルカナイズド製法・インジェクション製法や加硫圧着式は、各種油や溶剤及び酸、アルカリ等の浸入を防ぐ設計が施されています。

※プロテktivスニーカーは、JIS認証品である安全靴と比べて、甲被・底材の素材の自由度がある反面、使用環境によっては底の剥がれ・摩耗や甲被の破れなど耐久性が劣る場合があります。したがって、耐久性を重視される方には、JIS認証品である安全靴の着用をお薦めします。

※デザイン性に富むプロテktivスニーカーは、甲被材として加工しやすく軽い人工皮革、合成皮革、編物等が主に利用されており、軽量素材を使用した靴底が多く使用されていることから軽作業として広く活用されています。

## 規格に基づく厳格な性能試験

(公社)日本保安用品協会制定のJSAA規格に基づき、公的試験機関で性能テストを行っています。この試験をすべてクリアした製品に型式認定合格証明票(型式認定タグ)を付与しています。



## プロテクティブスニーカーの基本性能(抜粋)

## 試験時の中底と先芯のすきま

種類		普通作業用	軽作業用	サイズ	すきま(mm)	
記号		A種	B種	23.0以下	12.5以上	
つま先部	耐圧迫性	圧迫力	10±0.1kN	4.5±0.04kN	23.5~24.5	13.0以上
	耐衝撃性	衝撃エネルギー	70±1.4J	30±0.6J	25.0~25.5	13.5以上
中底と先芯のすきま		※右の「試験時の中底と先芯のすきま」を参照。		26.0~27.0	14.0以上	
表底のはく離抵抗	革製・ゴム製	300N以上	250N以上	27.5~28.5	14.5以上	
	人工皮革・合成皮革・編物・プラスチック	200N以上	150N以上	29.0以上	15.0以上	

## プロスニーカー®のJSAA規格に、新たなアウトソール区分

(ソールタイプIとソールタイプII)が新設されました。(2024年10月1日より)

ソールタイプI  
(耐燃料油性ゴム)

従来からの認定品が属する区分です。  
全ての製品のアウトソールには耐燃料油性性能を有しています。

ソールタイプII  
(非耐燃料油性ゴム)

新規に加わったソールの区分です。アウトソールに耐燃料油性性能はありません。  
油のある環境では使用しないでください。

表示の「ピクトグラム」または「指定文字表示」をチェックしていただくようお願いいたします。



又は

**非耐油底**

ソールタイプIIの場合、  
油に対する耐性を有していませんので  
左記のピクトグラム又は指定文字が表示されています。

## 型式認定合格証明書

### (型式認定タグ)は、信頼の証

耐衝撃試験をはじめとした公的試験の結果、JSAA規格を満たしたプロスニーカー®には、(公社)日本保安用品協会の型式認定合格証明書(通称:型式認定タグ)を付け、併せて個装箱には認定マークを表示しています。また、靴本体のベロ裏には型式認定合格とその種別(A種/B種)を明記しているほか、付加的性能がある場合はそれらをピクトグラムで表示し、使用者にいつでも分かりやすいようにしています。市場で流通する多様なスニーカー調作業靴の中でも、プロスニーカー®にはこのような型式認定合格の証を分かりやすく表示していますので、安心して選びいただけます。

#### 靴本体



型式認定合格証明書  
(型式認定タグ)

#### 個装箱



#### 靴本体のベロ裏



(表示例)



型式認定タグがない商品、つまり認定されていない靴は、安全面での保証はないのじゃ。

## 付加的性能を表すピクトグラム

### かかと部の衝撃吸収性能



衝撃吸収



### 耐滑性能



耐滑性



### 静電気帯電防止性能



静電



### 耐踏抜き性能



耐踏抜き性



### 漏れ防止性能



耐漏水

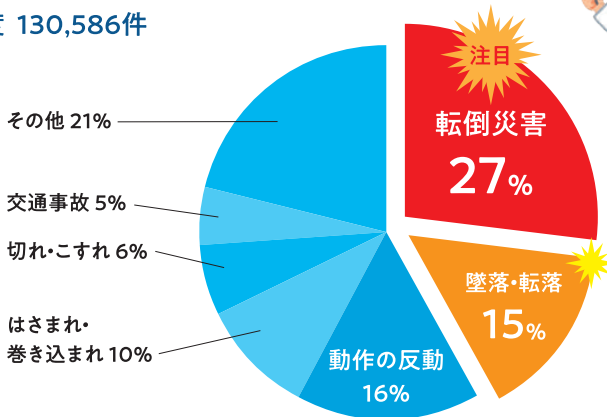


## 2024年度の労働災害発生状況

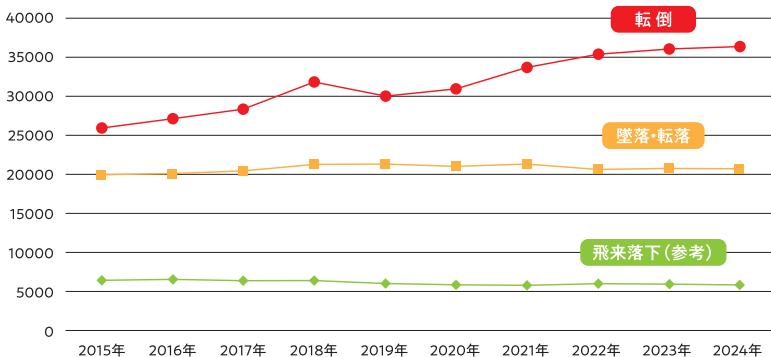
全産業 死傷者数 休業4日間以上  
(新型コロナウイルスによる労働災害を除く)

- 2024年度 135,718件
- 2023年度 135,371件
- 2022年度 132,355件
- 2021年度 130,586件

様々なシーンでプロスニーカーは履いてもらえているが、転倒災害は、なかなか減っていないのが実状じゃ。



### 過去10年間の足部に起因する死傷災害(休業4日間以上) 件数推移



労働災害の発生状況を鑑みて、国は『第14次災害防止計画』を行っておるぞ。この施策からも分かるように転倒対策は非常に重要じゃ。プロスニーカーを選ぶときは、8ページで説明している内容をしっかり確認する事を忘れないようにするのじゃ。



## 第14次労働災害防止計画とは

厚生労働大臣が労働安全衛生法第6条に基づき、労働災害防止に関し基本となる目標、重点課題等を定めた5か年計画です。

## 第14次労働災害防止計画でプロスニーカーが関係する重点対策

- ①労働者(中高年齢の女性を中心に)の作業行動に起因する労働災害防止対策の推進  
⇒転倒災害対策(ハード・ソフト面からの対策)に取り組む事業所の割合を2027年までに50%以上とする。  
※ハード=製品付帯設備 ※ソフト=作業手順
- ②高年齢の労働災害防止対策の推進  
⇒転倒による平均休業見込日数を2027年までに40日以下とする。



## ハード面での対策として、耐滑靴の普及が必要となる

- ③業種別の労働災害防止対策の推進  
⇒○陸上貨物運送事業:「陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン」に基づく措置(墜落・転落災害や転倒災害等の防止措置が含まれている)を実施する陸上貨物運送事業等の事業所(荷主となる事業者を含む)の割合を2027年までに45%以上とする。  
○建設業:墜落・転落災害の防止に関するリスクアセスメントに取り組む建設業の事業場の割合を2027年までに85%以上とする。



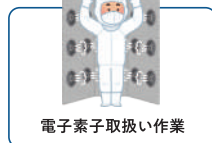
転落・墜落は結果であり、  
転倒が起因となるケースも内包しているため、  
耐滑靴の普及が必要となる

# どんなシーンで活躍？



プロスニーカーはつま先の保護性能や表底のはく離抵抗等の基準により、普通作業用「A種」と軽作業用「B種」の区分があります。又、2025年4月1日に改定され、表底材料による種類が「ソールタイプI」と「ソールタイプII」の2種類となりました。一例を下記にまとめましたのでご参照願います。

## 主な作業



主な作業名	ソールタイプ		つま先の安全性		主な作業名	ソールタイプ		つま先の安全性	
	I	II	A種	B種		I	II	A種	B種
建設・土木作業	○	○	○	△	自動車整備作業	○	×	○	△
宅配・運送業	○	○	◎	○	建設機械・重機保守・点検・整備作業	○	×	○	△
建設機械・クレーン操作作業	○	○	○	△	電子部品・電子素子取扱い作業	○	○	◎	○
構内荷物運搬作業	○	○	◎	○	病院内作業(看護作業)	○	○	◎	○
木工所内作業	○	○	◎	○	オフィス清掃作業	○	×	◎	○
厨房・食品加工作業	○	×	◎	○	警備作業	○	△	○	△
工作機械の保守・点検・整備作業	○	×	○	△	現場管理・監督業務	○	○	◎	○

※上記の表中で記載している職種はあくまでも目安ですので、作業環境にあったプロテクティブスニーカーをお選びください。



# 職場での転倒にご注意ください!



## 転倒予防のために適切な「作業靴」を選びましょう

陸上貨物運送事業労働災害防止規定では、第5章安全基準第1節 通則の8 安全な履物に“作業に応じ、安全靴その他履物を使用させること”とあり、第2節 貨物自動車等の積下し作業の7転倒防止措置では、“荷役作業場所等に合わせて、耐滑性、屈曲性のある安全靴を使用させること”と明記しており、耐滑性能の重要性を示唆しています。転倒は、状況によっては転落・墜落につながります。プロスニーカー®は、耐滑性能の有無が確認できるようになっていますので、作業環境に合わせた靴の選定が重要です。

### 耐滑性能の有無

靴のべろ裏面の表示に、耐滑性のピクト表示があるかを確認してください。

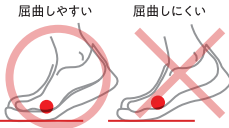


(表示例)

#### 屈曲性

親指から小指の付け根を適度に曲げられますか?

靴の屈曲性が悪いと、疲労の蓄積、擦り足になりやすく、つまずきの原因となります。



#### 重量バランス

靴の前後の重さのバランスはとれていますか?

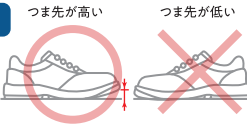
靴の重量がつま先部に偏っていると、歩行時につま先部が上がりやすく、つまずきやすくなります。



#### つま先部の高さ

つま先から床面まで一定の高さがありますか?

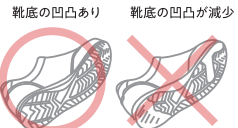
つま先の高さが低いと、ちょっとした段差につまずきやすくなります。



#### 靴底の減り具合

靴底がすり減っていませんか?

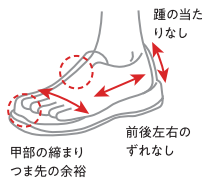
靴底の減りが大きい靴は、滑りやすくなります



#### サイズ

靴と足はフィットしていますか?

足に合った靴は疲労の軽減、事故の防止につながります。



セクション05でさらに詳しく『自分に合う靴の選び方』を解説しております!  
しっかり読んで、自分に合った靴を選ぶのじゃ。



# 自分に合う靴を見つけよう!



足に合わない靴は、いくら優れた性能をもつものでも十分な効果を発揮してくれません。靴を選ぶ際に注意しなければならないポイントを紹介いたします。

## 自分の足の形を認識することから

足幅が広い足か細い足かを知ることが重要。人それぞれ足の形は違います。足幅の広い人もいれば、細い人もいるでしょう。一般的に日本人は甲が高く幅が広い足で、反対に欧米人は甲が低く細い足だと言われています。靴の幅がきつく感じる人は、幅広の靴を選ぶ必要がありますし、偏平足気味の人は足裏に触れる部分がアーチ形状の靴を選ばない方がいい場合もあります。靴を選ぶ前に、もう一度足の形を確かめてみましょう。

## 購入する時間も靴選びのポイント

人の足は朝と夕方では0.5~1.0cm程度大きさに差があると言われています。これは体重がかかり足裏のアーチが広がることと、立っていることで血流が足へと下りてきて、足がむくんでしまうことが影響していると考えられます。

したがって、靴を購入するのは足が大きくなった午後がいいとされています。足が大きい状態で選んでおくと後でつらい思いをせずに済むでしょう。

## 試し履きをしてみましょう

靴を購入する場合、実際に履いて感覚をつかむことが大切となります。これから長く付き合っていくものなのだから、しっかりと細かくチェックしておきましょう。足に合わない靴を履いていると、足のトラブルや運動機能の低下をまねくおそれもあります。

また、試し履きをする時に片足しか履かない人が多いと思いますが、必ず両足とも試すことをおすすめします。人によって左右の足の形が違ったり、サイズに差があるからです。この時、靴紐をしっかり結び、甲に伝わる感触をつかむことも重要となります。

## 靴の履き方

1



足を入れる前に靴紐を全てゆるめ、靴の中で足指が動かせる程度のゆとりを作りましょう。

2



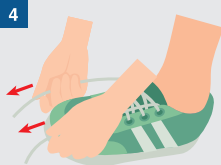
靴を履いたら、つま先を上げてかかとをトントントンと地面に打ちつけ、かかとを靴のヒール部分にしっかりと収めます。

3



ペロをしっかり引き伸ばし、靴紐を靴の先から手前に向かって順番に丁寧に締めていきます。

4



ピッタリとフィットしているか確認してからしっかりと靴紐を結びます。

5



靴の中で足指が動かせるか確かめてみましょう。

6



必ず両足を履いてから、歩いたり踏ん張ってみて靴の履き心地を確かめましょう。

## チェックポイント



### ① 甲

甲の部分がゆるいと、擦れる場合があります。また、きつくと足が疲れやすくなります。極端に合わないとき以外は靴紐で調節しましょう。

### ② つま先

靴を履いて立った時に、足の指を動かして、自由に動くか確かめてください。1.0~1.5cm くらいの余裕は必要です。親指や小指の付け根がきつくと足指にトラブルが生じてしまうことがあります。

### ③ アーチ部

中敷のクッションが足裏のアーチとズれていると、アーチに負荷が加わり足の疲労を招く原因になります。扁平足気味の人は、特に中敷のクッションの位置に注意して靴を選んでください。

### ④ かかと

かかとを浮かして靴が脱げてしまうようでは、着地する時に不安定になり危険です。かかとを包み込むようにしっかりとフィットする靴を選びましょう。

## 注意事項

- つま先部に硬質の先芯が入っているので、足を入れる際には十分注意してください。
- かかとを潰して履かないようにしましょう。
- 履く前は靴下にシワがないか確かめましょう。
- 靴紐やベルトを締めたまま脱いだり履いたりしないようにしましょう。

# きちんと手入れをしよう!



作業現場で安心して働くためには、プロスニーカー®の手入れが欠かせません。

より長く、より安全に履きこなすために、プロスニーカー®の正しい手入れ方法を身につけましょう。

## 洗 淨

- ①メッシュ地やステッチ部、シワ部分に詰まった汚れやほこりは靴ブラシで落とします。
- ②靴底に汚れが付着していると耐滑性が損なわれますので、ブラシなどを活用し、ほこりや目詰まりを取り除きましょう。
- ③ブラッシングでも落ちない汚れは、ぬるま湯か常温水を使用し、柔らかい布で丁寧に汚れを落としてください。

## 乾 燥

直射日光を避け、よく水気を取り、低温で風通しの良い日陰で乾かします。  
新聞紙や靴用の除湿剤を詰めると、より湿気を吸い込んで乾かやすくなります。

## 消 臭 防カビ

乾燥が不十分で靴の中に水気が残ったままだと細菌が繁殖しやすくなるため、入念に乾かしましょう。

## 保 管

乾燥後、防水スプレーを吹き付けておけば、汚れが付着しても落ちやすくなります。また、丁寧に手入れしても毎日履いていれば負担が蓄積していくので、2足以上揃えて、1日おきに休ませてあげれば、意外なほど長持ちするようになります。

※ご購入後、着用前に防水スプレーをすると汚れが付着しにくくなります。



着用する際もかかと部分を踏まないようご注意ください。形が崩れ、足当たりの原因になります。



手を使わず靴底のかかと同士を踏みつけて脱ぐと、破損の原因になります。



なるべく水洗いをしないようにしましょう。鋼鉄製の先芯が錆びることはありませんが、アッパー材(特に天然皮革)、中底等が傷む可能性があります。



発泡ポリウレタン製の靴底は、加水分解で劣化しやすく、履いていないままで放置しても経年劣化で靴底がひび割れている可能性があります。しばらく使っていなかった靴は必ず靴底を確認してから履くようにしましょう。(P12参照)



靴に溶剤や薬品などが付いた場合は、すぐに拭き取るようにしてください。(その際、手などに薬品が付かないように注意してください)



プロスニーカー®を手入れする時は、中敷も小まめに手入れして、消耗が激しいものは交換するようにしましょう。



つま先に物を落としたり強くぶついたりしたプロスニーカー®は、速やかに交換しましょう。



安全を守ってくれる靴だからこそ、手入れをして大切にしてくれなきゃ、博士泣いちゃうのじゃ。

# 豆知識、お教えします!



加水分解って何ですか?



表底のウレタン樹脂と空気中の水分が結びついて分子の結合が壊れボロボロと崩れる、もしくはべたべたになる現象じゃ。靴にもよるが、甲被にウレタンが使用されている靴は甲被にも加水分解が起こるぞ。

インソールの交換はどうすれば?



インソールは靴のつま先(先芯)性能を担保するものじゃから、使用している靴と同じメーカーから同等品を購入するようにするのじゃ。静電機能をもつ靴の場合は、中底面とインソールの導通性が必要じゃから、こちらの場合も必ず同じメーカーから同等品を購入するのじゃぞ。

靴の交換目安は?



安全性を第一に考え、一度強い衝撃や圧迫を受けたものは速やかに交換するのがお勧めじゃ。また、表底の激しい摩耗はスベリ転倒事故、つま先のハガレはつまづき転倒事故につながる可能性があるから、速やかに交換する事じゃな。

JSAA型式認定タグって何ですか?



JSAA(日本保安用品協会)規格により試験をし、合格した証じゃ!市場には粗悪な靴も多く、JPSA協会では市場買取調査を行い、粗悪品との差別化を図り、安全な靴の提供を心掛けておるぞ。型式認定タグは安全の目安と言えるな。(4ページ参照)



## JSAA型式認定制度と JSAA/JPSAの役割

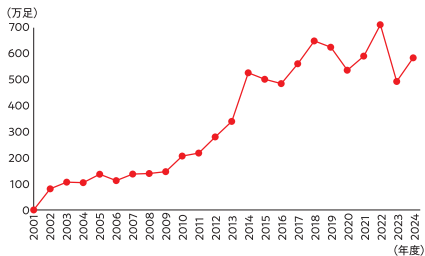
平成13年に一定の安全性能基準を有する作業靴として日本プロテクティブスニーカー協会規格(JPSA規格)が制定されたことにより、“プロテクティブスニーカー(プロスニーカー®)”が誕生しました。今では、働く人の足もとの安全確保に欠かせない、作業靴となりました。

団体規格としてスタートした新基準も徐々に市場の評価が高まり、2011年9月1日より公益社団法人日本保安用品協会(JSAA)が制定することにより公益性の高い規格へとレベルアップされ、製品の型式認定制度の基準規格として普及しております。

## 支持が広がる

### プロスニーカー®、プロブーツ®

プロスニーカー®、プロブーツ®の市場推移



## プロスニーカー®、 プロブーツ®は商標登録されています



## 日本プロテクティブスニーカー協会 設立と協会規格の歴史

### 1997年

外国製スニーカータイプの作業靴が市場に多く流通されました。中には、製品の個装箱に記載されている特徴として、あたかもISOやJISの同等か、それ以上の強度、性能を有するとの文言が記載されておりました。実際にはそのような仕様ではない製品が誇大広告により、消費者に誤認を与えるものでした。

### 2001年8月

当時の日本安全靴工業会が協力し、日本プロテクティブスニーカー協会(略称:JPSA)が発足され、JPSA規格が制定されました。

### 2010年6月

当規格の管理・運営は、社団法人日本保安用品協会(略称:JSAA)に移行され、規格名称がJPSA規格からJSAA規格へ名称変更されました。

### 2011年9月

社団法人日本保安用品協会が公益認定を受けたことによって、当規格は公益社団法人日本保安用品協会の規格となりました。

### 2017年11月

JSAA規格の改正(主な改正点:甲被素材、甲被強度試験等)

### 2021年7月

JSAA規格の改正(主な改正点:安全靴JIS2020改正に伴う試験方法、寸寸等の統一、先芯定義を刷新等)

### 2024年

JSAA規格追補版の発行(ソールタイプI,IIを新設)

## 主な活動

- ①会員会社による運営委員会の開催(9回/年)
- ②定期総会の開催(1回/年)
- ③市場買取調査(1回以上/年)
- ④会則等の見直し
- ⑤協会運営に係る課題を抽出し、審議する
- ⑥JSAA公益事業への協力



## 日本プロテクティブスニーカー協会会員一覧 (2026年2月現在)

### アイトス株式会社

〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町2丁目2番8号4階  
TEL.06-6262-8500 FAX.06-6262-5400  
<https://www.aitoz.co.jp/>

### 株式会社アシックス

〒650-8555 兵庫県神戸市中央区港島中町7-1-1  
TEL.050-1744-3344 FAX.078-303-1138  
<https://www.asics.com/jp/ja-jp/working>

### 株式会社エンゼルス

〒123-0841 東京都足立区西新井4-2-10  
TEL.03-3890-1407 FAX.03-3890-0486  
<http://www.angel-shoes.co.jp/>

### オカモト株式会社

〒113-8710 東京都文京区本郷3丁目27番12号  
TEL.03-3817-4111 FAX.03-3817-4118  
<https://www.okamoto-inc.jp/>

### おたふく手袋株式会社

〒562-8585 大阪府箕面市船場東3-11-22  
TEL.072-728-1111 FAX.072-728-6654  
<https://www.otafuku-glove.jp>

### 小野商事株式会社

〒156-0043 東京都世田谷区松原1-37-21  
TEL.03-3322-5111 FAX.03-3324-0005  
<https://www.ace-glove.co.jp/>

### 株式会社喜多

〒640-8111 和歌山県和歌山市新通5-22  
TEL.073-423-1697 FAX.073-462-6655  
<https://mega-kita.jp>

### 株式会社キタヤマ

〒143-0011 東京都大田区大森本町2-4-26  
TEL.03-3765-1251 FAX.03-3764-1316  
<http://www.tryant.jp>

### 弘進ゴム株式会社

〒984-0816 宮城県仙台市若林区河原町二丁目1番地11号  
TEL.022-214-3016 FAX.022-214-6830  
<http://www.kohshin-grp.co.jp/>

### 株式会社 コーコス信岡

〒729-3101 広島県福山市新市町大字戸手68  
TEL.0847-40-3390(代) FAX.0847-40-3392  
<http://www.co-cos.co.jp/>

### サンダンス株式会社

〒550-0003 大阪市西区京町堀1-8-22-501  
TEL.06-6441-6151 FAX.06-6441-6150  
<https://www.sundance-ltd.com/>

### 株式会社自重堂

〒729-3193 広島県福山市新市町戸手16-2  
TEL.0847-51-8123 FAX.0847-52-5898  
<https://www.jichodo.co.jp/>

### ジーデージャパン株式会社

〒110-0015 東京都台東区東上野2-22-5 旭ビル5F 502号  
TEL.03-3832-8151 FAX.03-3832-8153  
<http://www.gd-japan.com/>

### 株式会社ジーベック

〒720-8601 広島県福山市霞町2-1-2  
TEL.084-928-0003 FAX.084-932-7700  
<http://www.xebec-group.co.jp/>

### 株式会社シモン

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-3-1  
TEL.03-5695-1011 FAX.03-5695-0211  
<https://www.simon.co.jp/>

### 株式会社SHINYOH

〒101-0047 東京都千代田区内神田1丁目5-13  
内神田TKビル5F  
TEL.03-3527-9234 FAX.03-3527-9244

### 鈴木産業株式会社

〒418-0022 静岡県富士宮市小泉626-4  
TEL.0544-23-2456 FAX.0544-26-8718  
<http://www.wakuwaku-working.com/>

### ドンケル株式会社

〒343-0824 埼玉県越谷市流通団地1-1-16  
TEL.048-990-1500 FAX.048-990-1501  
<https://donkel.co.jp>

### 日進ゴム株式会社

〒700-0975 岡山市北区今八丁目16番17号  
TEL.(086)243-2456(代) FAX.(086)242-0550  
<https://www.nisshinrubber.co.jp/>

### 野口ゴム工業株式会社

〒739-0038 広島県東広島市田口研究団地6-40  
TEL.082-425-3241 FAX.082-425-3233  
<https://www.noguchirubber.jp/>

### 株式会社 のぼのぼ

〒246-0001 神奈川県横浜市瀬谷区即本町9279-37  
TEL.045-921-3561 FAX.045-921-5337  
<https://www.yetian.com/>

### フェアストーン株式会社

〒231-0023 神奈川県横浜市中央区山下町89-6  
TEL.045-681-3879 FAX.045-661-0114  
<http://www.fairstone.jp>

### 福山ゴム工業株式会社

〒720-8637 広島県福山市松浜町三丁目1番63号  
TEL.084-921-2311 FAX.084-932-1643  
<https://www.fukuyamagomu.co.jp/>

### 富士手袋工業株式会社

〒649-0306 和歌山県有田市初島町浜1263  
TEL.0737-83-1355 FAX.0737-83-5005  
<https://www.fujitebukuro.co.jp/>

### 株式会社丸五

〒710-1101 岡山県倉敷市茶屋町1680  
TEL.086-428-0230 FAX.086-428-7551  
<https://www.marugo.ne.jp/>

### ミズノ株式会社

〒559-8510 大阪市住之江区南港北1丁目12番35号  
TEL.06-6614-8421 FAX.06-6614-8492  
<https://jpn.mizuno.com>

### ミドリ安全株式会社

〒150-8455 東京都渋谷区広尾5-4-3  
TEL.03-3442-8293 FAX.03-3444-4508  
<https://www.midori-fw.jp/>

### 株式会社ユニワールド

〒649-0313 和歌山県有田市千田72  
TEL.0737-82-0663 FAX.0737-82-0611  
<https://www.uniworld.jp/>



日本安全靴工業会

<http://anzengutsu.jp>



日本プロテクティブスニーカー協会

<http://prosneaker.jp>

